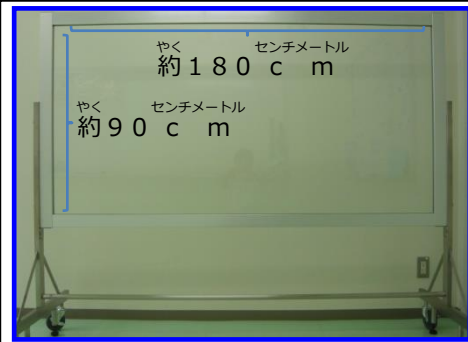


## 6 ウィンドウスクイジー

### (1) 手順



左の写真のガラスを使用して練習を行います。このガラスはビルクリーニング技能士の国家試験で使用するものと同じものです。スクイジーの引き方には「縦引き」から始める方法と「横引き」から始める方法がありますが、ここでは基本となる「縦引き」からの方法で練習を進めていきましょう。

手順①：資機材準備

手順②：ゆるく絞ったタオルでガラス表面の汚れを拭く

手順③：スクイジーで汚水をかき取る

手順④：わく拭き（水拭き）

手順⑤：わく拭き（から拭き）

手順⑥：面取り（から拭き）

手順⑦：点検

手順⑧：床拭き（水拭き）

手順⑨：スクイジーを拭き取る

手順⑩：報告

### (2) スクイジーでの約束

約束①：スクイジーで拭いた後は触らない。

約束②：スクイジーは1回使うごとに必ず刃についた汚水を拭き取る。

### (3) 用意するもの



### (4) 作業の流れ

手順①：資機材準備

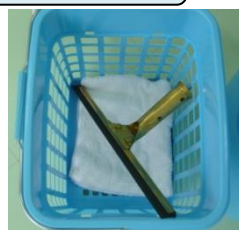
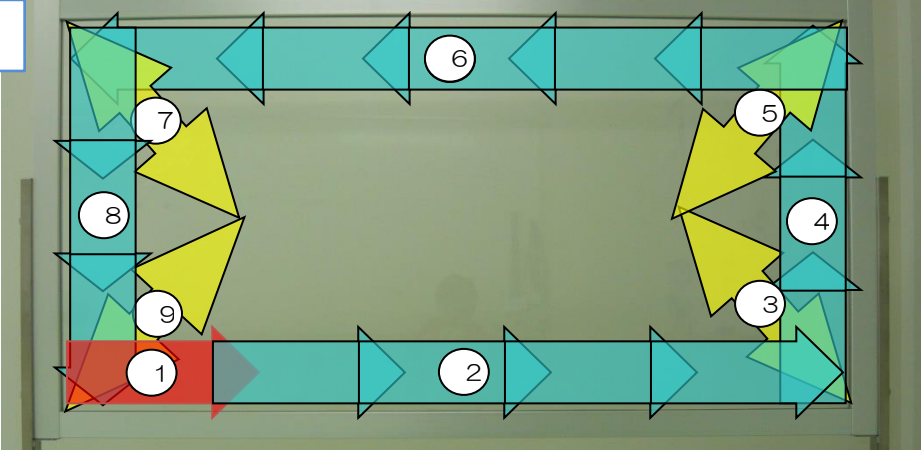


写真1 なかの中から、必要な資機材を選びます。

システムバケツの外側のバケツに水を3分の1入れ、八つ折りにした白タオルを1枚浸しておきます。内側のバケツには、八つ折りにした白タオルを1枚入れ、スクイージーの刃が上向きになるように斜めに入れます。写真2 の位置まで運んだら、写真3 のように、スクイージーをバケツに掛けます。作業は、バケツを置いた場所が左側になる面を使って行います。

手順②：ゆるく絞ったタオルでガラス表面の汚れを拭く

ふち 縁どり

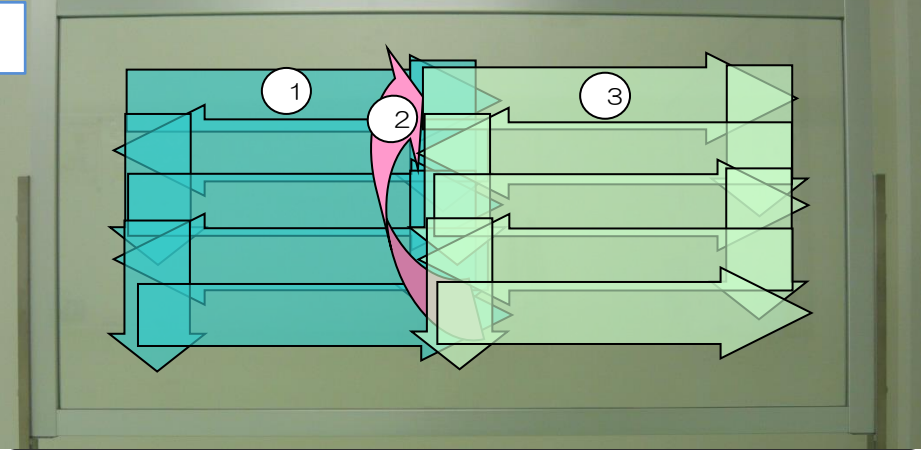


まど みぎうへ すいせい ペンの右上に水性ペンで汚れを付けてあるので拭き取ります。



最初に縁を拭きます。指を伸ばして角は斜めに手を入れ隅まで水が入るようにします。直線は上下の辺は5回、左右の辺は3回程度、手を前後に動かしながら拭いていきます。

まなか 真ん中



すみ なかゆび かど 隅は中指が角までしっかり入るように注意します。



縁どりが終わったらタオルを折り返して、次に真ん中を拭きます。テーブル拭きのときと同じように、横→縦→横→縦と真つすぐに隙間なく拭いていきます。②のところでタオルをひっくり返す必要はありません。

ふち じょうげ 縁の上下を拭くときは手を横に向けます。



まど 窓を拭くときは、小指側でもタオルを挟むとばらけません。

手順③：スクイージーで汚水をかき取る



グリップを両脇からしっかり握るよう  
に持ちましょう。

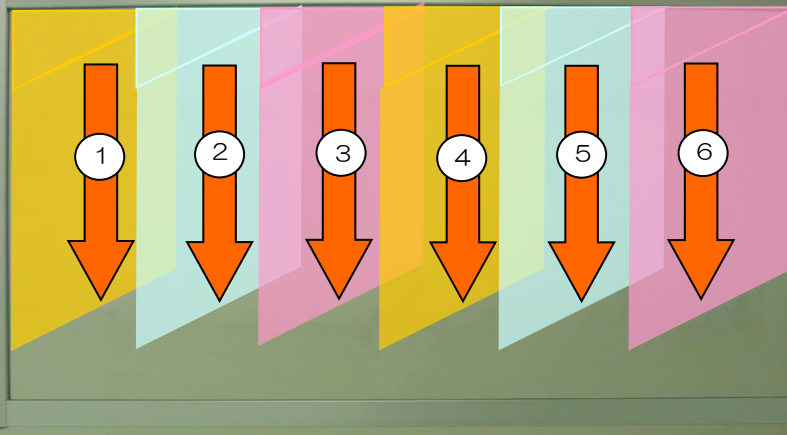


握った手と窓ガラスの間が指  
一本分くらい離れるようにしま  
す。右の写真のように離れすぎると  
うまく汚水をかき取れません。



タオルはよく  
ゆすいで、固く  
絞って左手に持  
ちます。

縦引き



膝を十分に  
使って引き  
ましょう。

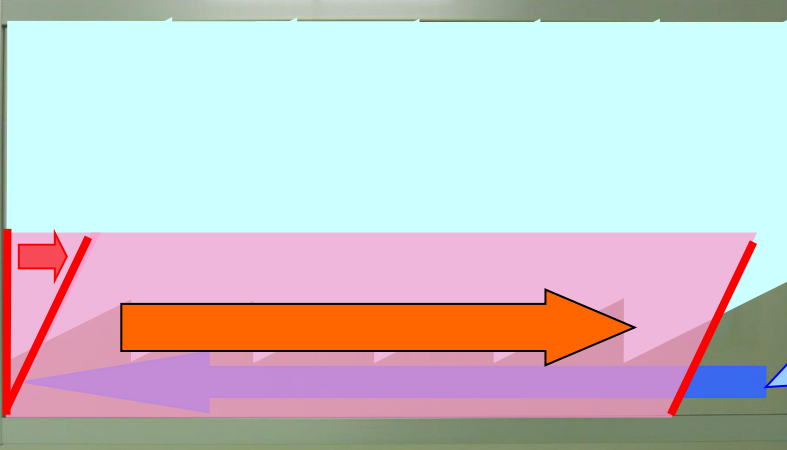


まず、スクイージーの刃を下から上へ拭きます。次に  
ガラスと窓枠の境目のところに刃を当て、左側を少し下  
げたらそのままの角度で下へ引きます。上の図のように、  
ガラスの下から15cmくらいで斜めのまま止めます。



スクイージーの刃は一度引くごとに毎回必ずタオルで  
拭き取ります。刃は汚水が床に落ちないように、下から上  
へ向かって全体を拭きます。この後行う横引きや扇引き  
のときにも忘れずにやりましょう。

横引き



まずガラス  
の下の方にお  
たまった汚  
水をタオル  
で拭き取り  
ます。



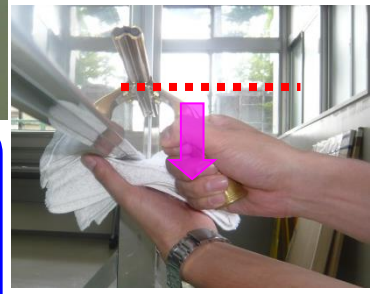
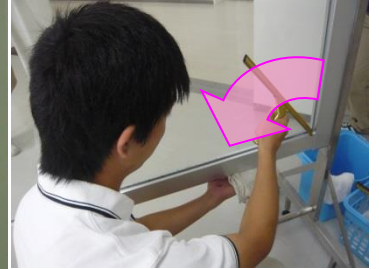
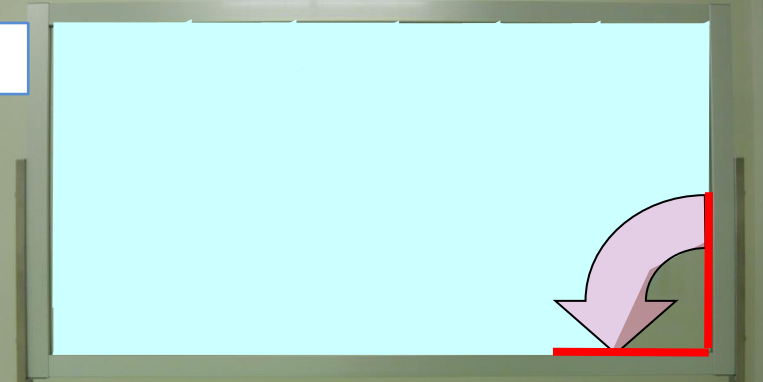


縦引きと同じように、まずガラスの左端にしっかりスクイージーの刃を当ててから、刃の上を進行方向へ斜めにします。タオルをスクイージーの真下に当て、汚水を床に落とさないようにしましょう。



横引きは足の運びが重要です。最初の構えから右足・左足・右足・左足の順に足を動かして右へ移動していきます。このとき、足を先行させ、スクイージーは常に体の中心線より左側にあるように意識しましょう。スクイージーが途中で止まったり浮いたりしないように注意し、一気に引きましょう。

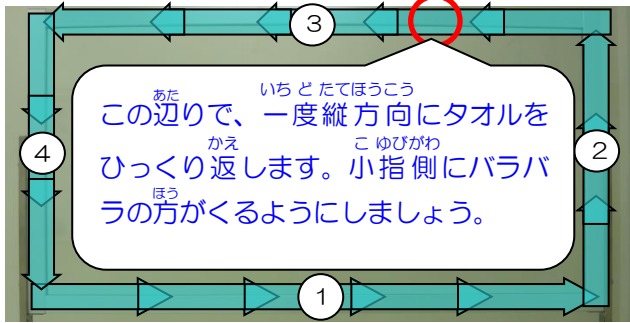
扇引き



残った右下の部分、スクイージーを扇形に動かして汚水をかき取ります。左肩をガラスに近づけ、左膝を着き、姿勢を低くします。ガラスの右端にスクイージーを当て、支点がずれないように注意しながら一気に動かします。スクイージーが途中で止まったり浮いたりしないように注意しましょう。このときタオルは窓枠の下に当てておきます。最後まで手首をもち上げないように窓枠まで引き下げたら、グリップを持ち上げて汚水をしっかりかき取りましょう。

手順④ : わく拭き (水拭き)

手順⑤ : わく拭き (から拭き)

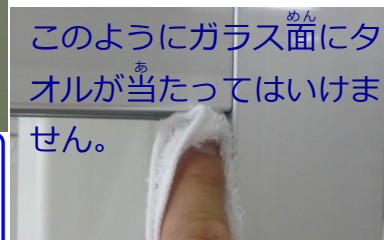
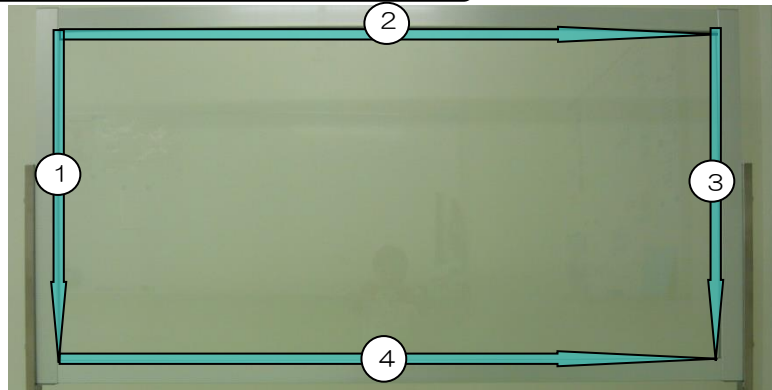


この辺りで、一度縦方向にタオルをひっくり返します。小指側にバラバラの方がくるようにしましょう。



タオルをゆすいで固く絞り、窓枠を拭きます。タオルは16折の大きさにし、バラバラの方が小指側になるようにして持ちます。ガラス面にタオルがつかないように注意します。この後、乾いたタオルで同じことを行います。

手順⑥ : 面取り (から拭き)

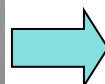
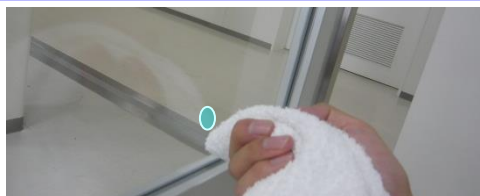


次に、乾いたタオルで縁を拭き取ります(面取り)。タオルは二つ折にし、人差し指を中に入れ、ガラス面にタオルが触れないように注意しながら、図の順番に拭いていきます。④の部分は水がたくさんたまるので、ゆっくりタオルを動かす、同じ動作を数回行うなどで、確実に拭き取ります。①～④まで、拭くたびにタオルの濡れていない部分を出して拭きます。

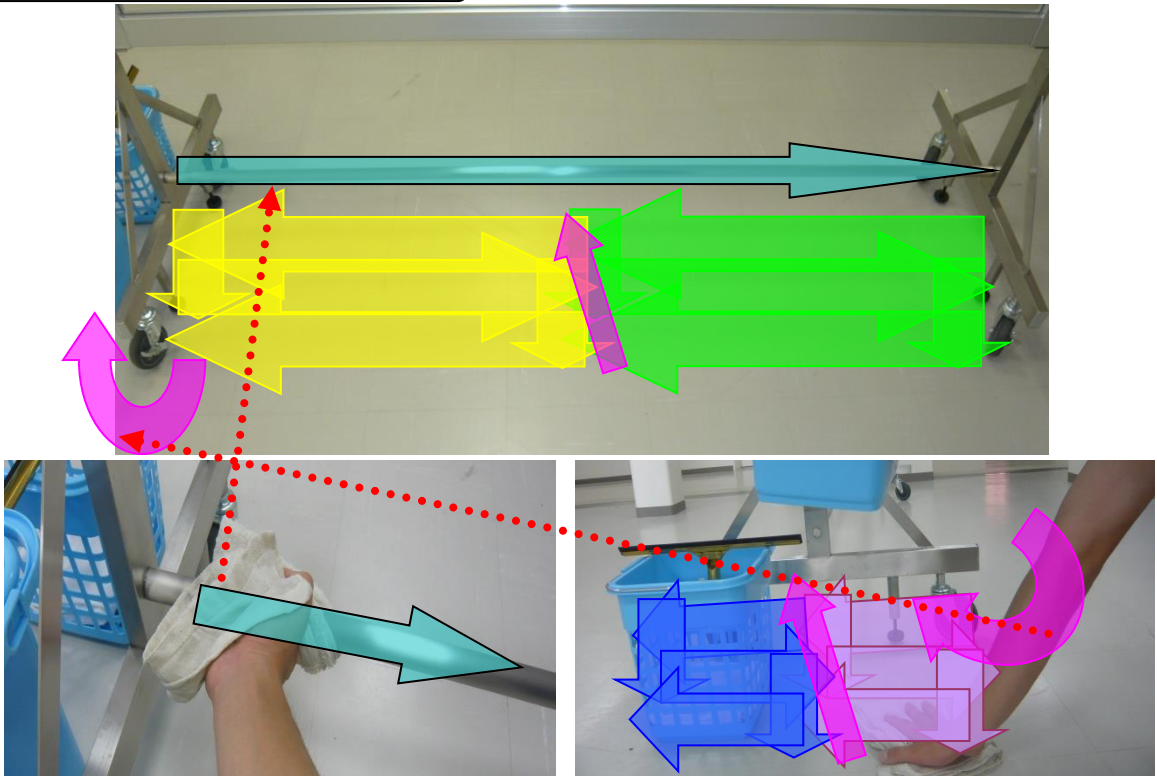


手順⑦ : 点検

面取りが終わったら、引き続き乾いたタオルに人差し指を入れた状態で、ガラス面に水滴が残っていないか点検します。水滴を見つけたら、指を下から上に向かって引っかくように動かして水滴を飛ばすように処理します。



てじゆん ⑧ : 床拭き(水拭き)



つぎに、濡れたタオルをゆすいで固く絞り、まずガラスの下のバーを左から右へ拭き、そのまま床にタオルを下ろして、床を右から左へ拭いていきます。ガラスの下の部分を拭き上げたら、そのままの流れでバケツの下を拭いていきます。バケツは一つずつ持ち上げて拭いていきましょう。

てじゆん ⑨ : スクイジーを拭き取る



つぎに、乾いたタオルでスクイジーを拭き上げます。ゴム刃の部分の部分を拭き、グリップを拭き、グリップの中の水滴も拭き取ります。拭いた後は、ゴム刃は触らないようにしましょう。拭き終わったら乾いたタオルを畳んでバケツに元通りに入れ、その上にスクイジーをゴム刃が上になるように斜めに入れます。

てじゆん ⑩ : 報告

すべての工程が終了したら、資機材を資機材置き場に戻します。姿勢を直し、はっきりした声で報告をしましょう。

さんこう ひだりき ばあい 参考: 左利きの場合

左利きの方で、左手でスクイジーを持って作業する場合は、バケツを置く位置や拭き始めの場所など、全て右利きの場合と逆にして作業を行うようにしましょう。